

地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の推進！

【支援金確定額：308,386円 支援率：50%】

取材日：平成23年（2011年）11月25日

■どのような活動をされていますか？

自遊時感工房は、『会員が気軽に・気楽に・気長に・気持ちよく自遊時感（じゆうじかん）を楽集（がくしゅう）しながら、スローライフを創造しよう』をモットーに、平成6年12月に設立されました。

中核事業は「地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の推進」で、具体的には障害者スポーツ大会開催、障害者スポーツの普及および指導者講習会開催、障害者スポーツ種目の開発・研究等があります。また、各種くらす活動（船橋学、百人の音遊楽、凶工の時感、施設訪問、吹矢、健康麻雀等）の開催があります。



障害者と健常者が一緒に参加できる
スポーツを振興しています

■支援金をどのように活用されますか？

平成23年度は、①障害者スポ・レク教室開催（通年）、②千葉県障害者スポーツ大会協力、③障害者スポーツの指導者講習会開催、④障害者スポーツ普及講習、⑤船橋市スポ・レク大会開催、⑥車椅子ウォークラリー大会開催、⑦障害者スポーツ普及講習会等々、スポーツを通じた障害者の社会参加を推進する活動に支援金を有効利用していきます。

現状では、会員の会費や活動実施時における参加費徴収、市や企業の支援などで、身の丈に合った運営をしています。

今後、事業の拡大や安定した資金確保のためにも、NPO法人化を検討していきます。



ダーツを楽しむ会員の皆さん

■今後の活動の抱負を教えてください。

今年5月に「船橋障害者スポ・レク協会」が設立されました。現在60名の会員登録があります。今後、「自遊時感工房」は趣味の分野に特化し、障害者スポーツの分野は船橋障害者スポ・レク協会へ移管して、その充実を図っていきたいと思います。当面の目標としては、障害者の陸上競技大会の開催があり、特に車椅子でのスラローム競技やジャベリックスロー（やり投げ）競技の開催を目指します。

既存の室内スポーツ施設は障害者向けの対応ができていない面があり、今後は、その改善に向けて各方面に働きかけるほか、引き続き、市や企業等に資金その他で支援を仰いでいきたいと思っています。

～取材を終えて～

薬田台公民館で「障害者スポーツ講習会」が実施されました。第1部は船橋市ジャズ体操グループによる模範演技が行われ、会員の方々が楽しそうに演技していました。また、第2部では船橋市ダーツ協会によるダーツ教室が行われ、車椅子の方々も積極的に参加されていました。

まだまだ障害者の社会参加が少なく、障害者の社会との関わり合いを深めるためにも「自遊時感工房」と「船橋障害者スポ・レク協会」の活動は、今後、社会的課題として益々重要なものとなっていくことを感じました。

■関わり先（連絡担当者）：事務局 高橋 久吉（たかはし きゅうきち）

TEL：090-4226-9623

FAX：047-467-6259